



## はじめに

[Pixel 3 XLの分解](#)でもまだ満足できない方向けに、ビデオチームがPixel 3の分解を製作しました!

iFixitの[Facebook](#)や[Instagram](#)、[Twitter](#)と[Twitter日本語版](#)をフォローして最新ニュースを入手しましょう。また受信ボックスに直接ニュースを届けて欲しい方は[ニュースレター](#)を購読してください(英語での発信)。もしくはYouTubeの[iFixit Video](#)に直接アクセスして、いいねを押したり、コメントを残したり、チャンネルをフォローしてください!

### ツール:

- [Essential Electronics Toolkit](#) (1)
- [iOpener](#) (1)



## 手順 2 — 分解を終えて

## REPAIRABILITY SCORE:



- Google Pixel 3 の修理難易度は10点満点中4点です。(10点が最も修理しやすい指標)
  - 唯一使用されている標準型ネジは T3トルクスファスナーネジです。
  - 修理しやすい伸縮性のある接着剤がバッテリーを固定しています。
  - Oリングと防水用接着剤の使用によって修理作業が複雑になります。同時に、液体ダメージが発生する可能性が低くなります。
- ディ스플레이修理は前モデルよりも難易度が増しました。デバイス全体の解体が必要です。
- コンポーネントを交換するには、ガラス製リアパネルに付けられた接着剤を剥がさなければなりません。(そして修理後、接着剤を付ける作業が待っています)
- 正面と背面をガラスで覆われているということは、落下した際にダメージが入る可能性が高くなることを意味します。